

1. 科目名 (単位数)	社会福祉原理特論 (2 単位)	池袋・名古屋	3. 科目番号	SSMP5311
2. 授業担当教員	田代 幹康・村川 浩一			
4. 授業形態	講義・発表・討論		5. 開講学期	春期
6. 履修条件・ 他科目との関係	履修条件は特になし			
7. 講義概要	社会福祉の原理と理念、および社会福祉の構造と機能を体系的に学ぶ。歴史的に見ると社会福祉は、相互扶助、慈善・博愛事業、社会事業、そして現在の社会福祉の段階に繋がっていると考えられる。講義では、社会福祉の原理を理解し、社会福祉の全体像について教授する。授業方法としては、各自の研究テーマと照らし合わせながら、指定したテキストを分担して発表・議論することを通じて理解を深める。			
8. 学習目標	以下の諸課題について理解する。 1. 社会福祉の概念 2. 社会福祉の特質 3. 社会福祉の理念 4. 社会福祉システムと構造 5. 日本と欧米の社会福祉の歴史 6. 各分野別の社会福祉法制度			
9. アサインメント (宿題) 及びレポート課題	授業時に提示する。			
10. 教科書・参考書 ・教材	【教科書】 小田憲三 杉本敏夫編著『社会福祉概論 (第4版)』勁草書房、2020。 田代幹康、シシリア・ロボス訳・著 『スウェーデン、ノーマライゼーションへの道』 現代書館、2007 【参考文献】 平山尚他『人間行動と社会環境』ミネルヴァ書房、2000。 平山尚他『社会福祉実践の新潮流』ミネルヴァ書房、1998。 正村公宏「福祉国家から福祉社会へ」、筑摩書房、2000。 村川浩一ほか「福祉行財政と福祉計画」、第一法規、2017。			
11. 成績評価の規準と 評定の方法	○成績評価の規準 社会福祉の概念・特質・理念についての理解 社会福祉の歴史・各分野の法制度についての理解 等 ○評定の方法 レポート 30% 発表・レジメ内容・作成 30% 授業出席・態度 40% (評価点) A: 100～90, B+: 89～80, B: 79～70, C: 69～60, F: 59 点以下			
12. 受講生への メッセージ	1 年次中に論文の書き方を身につけること。 原則的に全授業に出席し、遅刻・早退などをしないこと。スマートホン・携帯電話等は調べ物をする時の指示がある場合以外はカバン等にしまっておくこと。			
13. オフィスアワー	追って通知する。			
14. 学習の展開及び内容	【テーマ、学習の目標、学習の内容、キーワード、学習の課題、学習する上でのポイント等】			
1～2. テーマ	オリエンテーション、発表・レジメ作成の割り振り、社会福祉の基礎理論①②(村川)			
【学習の目標】 社会福祉の基礎理論について理解する。 【学習の内容】 1. 社会福祉の理念 2. 社会福祉の制度政策 3. 社会福祉の実践 【キーワード】 社会福祉概念、社会全体の福祉、個人の福祉、社会政策、社会事業、社会問題、救貧事業段階、劣等処遇、保護的処遇、ノーマライゼーション、自立支援、福祉国家段階、普遍的処遇 【学習の課題】 社会福祉とは何かという課題を読み解いていく。 【学習する上での留意点】 社会福祉の概念は、国家の発展のなかで生じた概念であることに留意すること。				
3～6. テーマ	社会福祉の歴史的展開と政策①②③④ 日本 (村川)			
【学習の目標】 日本における社会福祉の史的展開について理解する。 【学習の内容】 日本における社会福祉の史的展開 【キーワード】 救済行政、宗教活動、村落共同体、相互扶助、 じゅつきゆう 恤救、慈善、社会事業、福祉国家、福祉改革、ノーマライゼーション、ソーシャルインクルージョン、米騒動、中央慈善教会、中央社会事業協会、方面委員制度、救護法、制限扶助主義、ミーンズ・テスト、福祉三法、福祉六法、非貨幣的ニーズ、QOL、高齢者保健福祉推進十か年戦略(ゴールドプラン)、在宅福祉サービス、施設福祉サービス、地方分権、福祉関係八法改正、エンゼルプラン、新ゴールドプラン、ゴールドプラン 21、障害者プラン、適正給付・適正負担、新エンゼルプラン、子ども・子育て応援プラン、市場原理(競争原理)、社会福祉基礎構造改革、応益負担、応能負担、新障害者基本計画、新障害者プラン 【学習の課題】 日本における社会福祉がどのような背景で、どのように発達してきたのか、これらの項目について理解すること。 【学習する上での留意点】 社会福祉の史的展開が社会経済変動の影響によるものであることに留意すること。				
7～8. テーマ	社会福祉の援助対象と福祉ニーズ(村川)			
【学習の目標】 社会福祉の援助対象を明らかにし、福祉ニーズとは何かについて理解する。 【学習の内容】 1. 社会福祉援助対象の意味 2. 社会福祉援助対象の把握 3. 福祉ニーズ 4. 福祉ニーズへのアプローチ 【キーワード】 援助対象、福祉ニーズ、在宅福祉サービス、貨幣的ニーズ、非貨幣的ニーズ、潜在的ニーズ、顕在的ニーズ、自覚				

	れたニーズ、表明されたニーズ、規範的ニーズ、比較ニーズ 【学習の課題】福祉ニーズを把握する具体的アプローチにはどのようなものがあるかについて理解する。 【学習する上での留意点】社会福祉援助の対象が歴史的に変化するものであることに留意すること。
9 . テーマ	社会福祉の国際的条約と国際動向、スウェーデン、ノーマライゼーションへの道(田代)
	【学習の目標】グローバルな視点で社会福祉に関する国際条約・宣言・規約等について理解する。 【学習の内容】 1. 世界人権宣言 2. 児童の権利に関する条約 3. 障害者の人権宣言 【キーワード】世界人権宣言、国際人権規約、児童の権利に関するジュネーブ宣言、児童の権利に関する条約、障害者の人権宣言、知的障害者の権利宣言 【学習の課題】国際連合を中心とした各宣言や規約について理解する。
10 . テーマ	所得保障、スウェーデン、ノーマライゼーションへの道(田代)
	【学習の目標】社会保障の考え方と生活保護制度を中心とした日本の所得保障法制度について理解する。 【学習の内容】 1. 公的扶助 2. 生活保護制度 3. 生活困窮者の自立支援 【キーワード】公的扶助、憲法、生活保護制度、生活保護制度の原則・原理、生活困窮者、自立支援 【学習の課題】日本の公的扶助の法制度について理解する。 【学習する上での留意点】法制度を実践内容と含めて理解する必要がある。
11 . テーマ	児童家庭福祉、スウェーデン、ノーマライゼーションへの道(田代)
	【学習の目標】日本の児童家庭福祉法制度について理解する。 【学習の内容】 1. 児童福祉法 2. 児童の定義 3. 実施機関と施設 4. 障害児への施策 【キーワード】児童相談所、児童福祉施設、子育て支援 【学習の課題】児童福祉法にもとづく支援・サービス、施設・機関の役割について整理し、少子化対策についての課題をまとめる。 【学習する上での留意点】法制度を実践内容と含めて理解する必要がある。少子化対策について学び、現在の課題についての考察を試みる必要がある。
12 . テーマ	障害者福祉、スウェーデン、ノーマライゼーションへの道(田代)
	【学習の目標】日本の障害者福祉法制度について理解する。 【学習の内容】 1. 障害の概念 2. 各障害福祉関係の法律と支援・サービス内容 3. 障害者福祉の課題 【キーワード】障害者総合支援法、障害者基本法、障害者基本計画、障害者虐待防止法、リハビリテーション 【学習の課題】日本の障害者福祉法制施策について理解する。 【学習する上での留意点】法制度と実践内容を現在の課題と含めて理解する必要がある。
13 . テーマ	高齢者福祉、スウェーデン、ノーマライゼーションへの道(田代)
	【学習の目標】日本の高齢者福祉法制度について理解する。 【学習の内容】 1. 高齢者福祉関係の法律と支援・サービス内容 2. 高齢者福祉の課題 3. 介護保険法 4. 地域包括システム 【キーワード】介護保険制度、老人福祉法、措置制度、高齢者虐待防止法、地域包括ケアシステム 【学習の課題】日本の高齢者を取り巻く福祉法制施策について理解し、最近の地域包括ケアシステムの考え方を整理する。 【学習する上での留意点】法制度を実践内容と含めて理解する必要がある。
14 . テーマ	母子及び父子並びに寡婦福祉(田代)
	【学習の目標】日本の母子及び父子家庭並びに寡婦の福祉法制度について理解する。 【学習の内容】 1. 母子及び父子家庭並びに寡婦関係の法律と支援・サービス内容 2. 母子及び父子並びに寡婦福祉の課題 【キーワード】母子及び父子並びに寡婦福祉法、母子生活支援施設、就労支援、経済的支援 【学習の課題】母子及び父子並びに寡婦福祉法による支援内容について学び、現在の抱える問題について整理する。 【学習する上での留意点】法制度を実践内容と含めて理解する必要がある。
15 . テーマ	地域福祉(田代)
	【学習の目標】社会福祉法における地域福祉の位置づけについて理解し、その発展・展開過程について学ぶ。 【学習の内容】 1. 社会福祉法と地域福祉 2. 社会福祉協議会 3. 地域福祉計画 【キーワード】社会福祉法、地域福祉計画、地域福祉活動計画、地域トータルケアシステム 【学習の課題】市町村の地域福祉計画の内容について調べ、その特徴についてまとめる。 【学習する上での留意点】調査は各市町村の資料を収集する必要がある。